

# 取得できる資格・受験資格

## その他の資格

学科名	コース名	資格・試験名(区分)
工学科	機械工学コース	自動車整備士(4) 航空整備士(10) ボイラー技工士(9) 機械設計技術者3級(10) 技術士補(2) 技術士(10) 他
	エネルギー環境工学コース	ボイラー・タービン主任技術者(5) 衛生管理者(6) 冷凍空調技士(10) 他
	電気システム工学コース	電気主任技術者<指定科目の修得が必要>(5) 電気通信主任技術者<指定科目の修得が必要>(2) 第二種電気工事士<指定科目の修得が必要>(2) 2級電気工事施工管理技士(4) 他
	電子情報通信コース	電気主任技術者<指定科目の修得が必要>(5) 電気通信主任技術者<指定科目の修得が必要>(2) 第二種電気工事士<指定科目の修得が必要>(2) 2級電気工事施工管理技士(4) 他
	社会基盤デザインコース	技術士補(1) 技術士(6) 測量士補(1) 測量士(5) 1・2級土木施工管理技士(6) コンクリート診断士(6) 土木鋼構造診断士(6) 他
	建築学コース	一級建築士(6) 二級建築士(4) 木造建築士(4) 1・2級建築施工管理技士(6) 1・2級土木施工管理技士(6) 建築設備士(6) 土地計画整備士(6)
	知能情報コース	基本情報技術者試験(10) 応用情報技術者試験(10) ネットワークスペシャリスト試験(10) 他

- 区分 (1)卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格  
 (2)卒業単位を修得することにより試験の一部が免除される試験  
 (3)卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる資格  
 (4)卒業単位の修得することにより受験資格のある試験  
 (5)卒業単位を修得後、実務経験を必要とする資格  
 (6)卒業単位を修得後、実務経験を必要とする試験  
 (7)卒業単位を修得後、指定の就職に要件とする資格

- (8)前提となる資格を取得して得られる資格  
 (9)前提となる資格を取得後、実務経験を必要とする資格  
 (10)国が認定する1~9以外の資格又は試験  
 (11)卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる免許  
 (12)卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる受験資格  
 (13)前提となる免許を取得後、実務経験を必要とする試験



# 入試情報

## 入試制度

- 一般入試(前期日程・後期日程)は工学科として7コース一括で募集し、合格者を決定します。各コースの希望順位は出願時に申告します。
- 全てのコースでAO入試・推薦入試IIが導入されます。
- 特別入試(AO入試・推薦入試II・社会人特別入試・私費外国人入試)はコースごとに募集します。

	定員	種別	定員	センター試験	個別学力試験
工学部工学科	350名	一般入試(前期日程)	206名	5教科7科目又は5教科8科目	数学・物理 なし 面接・プレゼン 面接
		一般入試(後期日程)	40名	3教科5科目又は3教科6科目	
		AO入試	36名	なし	
		推薦入試II	68名	3教科5科目又は3教科6科目	

## コース名と専門分野

学科名	コース名	専門分野
工学科	機械工学コース(55名)	材料加工学、応用材料力学、流体工学、熱工学、機械制御
	エネルギー環境工学コース(55名)	エネルギー変換工学、流体システム工学、システム設計、材料環境学、システム計測
	電気システム工学コース(45名)	電力工学、電力変換、電気機器、制御工学、ロボティクス
	電子情報通信コース(45名)	電子材料・デバイス、電子回路、通信工学、計測工学、計算機工学
	社会基盤デザインコース(45名)	社会システム計画学、水圏環境工学、地盤環境工学、構造設計工学、建設材料学
	建築学コース(45名)	建築デザイン・計画、都市計画・地域生活空間、環境工学・建築設備、建築材料・建築施工・建築生産、建築構造・耐震工学、建築防災工学
	知能情報コース(60名)	コンピュータサイエンス、情報通信ネットワーク、人工知能

## コース配属と確定

- まず、入学時に入試成績と本人の志望で各コースへ配属します(一般入試の選抜は1学科で行います)。
  - 2年次前期開始前に本人の希望と学力成果に応じてコース配属の確定を行います。
- ※ただし、最終的なコース配属は、1年次における成績やコースの受け入れ人数等の関係で、全学生の希望通りとならない可能性もあります。上記に示す工学科のコース名に記した数字は、目安の定員数を示しており、コースへの配属数は最終的に変動する場合があります。

## 入学生の出身地

